

令和4年度 全国学力・学習状況調査 いわき市の分析結果（中学校の概要）

学力調査の結果から

	国 語		数 学		理 科	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
いわき市	9.7/14	69%	6.5/14	46%	10.1/21	48%
福島県	9.6/14	68%	6.6/14	47%	10.2/21	48%
全 国	9.7/14	69.0%	7.2/14	51.4%	10.4/21	49.3%

国 語



内 容	平均正答率	全国平均正答率
話すこと 聞くこと	62.7%	63.9%
書くこと	51.5%	46.5%
読むこと	67.1%	67.9%

国語の勉強は好き

64.8%（全国比+2.9）

国語の授業の内容はよく分かる

83.2%（全国比+2.0）

数 学

領 域	平均正答率	全国平均正答率
数と式	51.7%	57.4%
図形	39.1%	43.6%
関数	38.6%	43.6%
データの活用	52.7%	57.1%

数学の勉強は好き

59.8%（全国比+1.7）

数学の授業の内容はよく分かる

75.4%（全国比-0.8）



理 科

領 域	平均正答率	全国平均正答率
エネルギー	39.3%	41.9%
粒子	50.1%	50.9%
生命	56.1%	57.9%
地球	43.0%	44.3%

理科の勉強は好き

72.2%（全国比+5.8）

理科の授業の内容はよく分かる

80.3%（全国比+5.1）



問題別調査結果から見た課題とその手立て

○（課題） →（手立て）

【国語】

- 自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す
 - 「聞き手視点での伝わり方」を取り入れた相互評価の場面を設定しながら、「話し方」として身に付くような言語活動を取り入れる。
 - 国語科と他教科との関連を図りながら、国語で身に付けた資質・能力を生かす発表や報告といった言語活動を充実させていく。

【数学】

- 事象を数学的に解釈し、その根拠を数学的な表現を用いて説明する
 - 言葉や数、式、グラフ等を適切に用いて、自分の考えを分かりやすく説明したり、互いに自分の考えを表現し合ったりする学習活動を充実させる。
- 問題の意味や用語、理由や根拠を正しく理解する
 - 学習内容の習熟の程度に応じた指導など指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実を図り、数学的な知識・技能の確実な定着を図る。

【理科】

- 他者の考えの妥当性や実験の計画が適切か検討し、改善する
 - 多面的、総合的に検討したり、実験計画を再検討したりする学習活動を充実させる。
- 複数の資料を関連付けて分析・解釈すること
 - 主体的な学習で得た資料やデータを用いることで関与性を高め、読み方の指導を丁寧に行う。

正答率に大きく影響のあった学習活動 ～生徒質問紙から～



- ・ 自ら課題に取り組む
- ・ 自分の考えを広げる、深める
- ・ 学習した内容を振り返る

※ これらの質問に「当てはまる」と回答した児童は「当てはまらない」と回答した児童よりも、国語・数学の正答率が約15～25ポイント高かった。

学習活動の効果を上げるために学校全体で取り組むこと

- 課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組む学習を行う（※ 学校質問紙「よく行った」10.5%（全国比 -8.7））
- 課題を明確にもち、課題に対する自分の考えやその根拠を説明し合うなどの他者との関わりを通して理解を深める学習活動を充実させる。

家庭での過ごし方

平日の家庭学習時間（全国比）

3時間以上	6.7%（-3.2）
2～3時間未満	28.1%（+2.8）
1時間～2時間未満	39.2%（+4.9）
1時間未満	25.9%（-4.5）

（「3時間以上」と「全くしない」との正答率の差は各教科で約20ポイント）

- 規則正しい生活を送る
- 家庭学習の内容を工夫する
- 活字に触れる習慣を身につける

学力を支える要素にも・・・

自分にはよいところがある
74.3%（全国比-4.2%）
地域の行事に参加している
32.4%（全国比-7.6%）